

5月19日

学芸講座「赤羽刀と日本刀の魅力 様々な視点から」

に寄せられたご質問に

講師・福井款彦先生がお答えします **Q&A**

(三重県・愛知県銃砲刀剣類登録審査委員)

Q 手入れに適した時期について教えて欲しいです。2、5～6月（五月晴）、10月ごろの3回行っています。

A その時期は正解、湿度が高いより低い時期が良いようです。あとは焦らず丁寧に繰り返し行なうことが肝要です。

Q 熱田神宮の説明があり前回（R5年6月11日）欠席してましたので、大変興味がわきました。更に知りたいですが、何か本、図録等はどこで手に入りそうですか？

A 熱田神宮の概説書としては、学生社で出された神社シリーズ『熱田神宮』（篠田康雄著）が内容もよく参考になります。もしかしたら古書でしか入手できないかも知れません。あと熱田神宮の授与所で申し出ていただければ、新書版タイプの『熱田神宮宮記』という詳しい由緒書を頒布しているので参考になるかと存じます。宝物館では、過去の特別展の時に出して残った物がある程度で、熱田神宮の歴史に深く関したものはありません。

Q 赤羽刀から国指定（＝国宝、重文）になったモノはありますか？（市・県はあるようですが...）

A 国指定はありません。

Q 折紙の話など端折られたところも気になります。

A 折紙の現物（古折紙である本阿弥光忠）を持参していましたが、ご高覧に供せられず端折ってしまい申し訳ありません。

Q 今回の展示で「これは！」という展示はどの刀剣でしょうか？

A じっくり拝見した訳でないのですが、赤羽刀ではないが、学芸員さんに教えていただいた横倉喜三次の二王脇指。歴史の証言者で貴重ですね。赤羽刀では、濃州関住兼時辰作／天正八年八月吉日の刀が長寸で迫力ある刀、年紀も在り貴重だと思います。また、兼常とその子たちと三人合作の神社奉納刀も貴重だと思いました。

Q 草薙剣の手入れはされているのですか？勅封されているとのことですが。

A 御神剣は本殿の奥深く幾重もの箱に収納されて奉安してあり、その外箱に勅封が施されているようです。宮司といえども拝見できず手入れなどはしていません。

Q 赤羽刀の美術刀剣選定のエピソードを沢山知りたい。GHQ接收時除外された刀剣類の数を知りたい。

A 関係者個々の回顧録があるかと思いますが、ジャーナリストジャーナリストの土子民夫著『戦後日本刀事件史』という本が手軽に入手できて参考になるかと存じます。